

青い森の豊かな森林を次世代へ継承！(株)津軽バイオマスエナジー社有林で植樹活動を体験

総合建築科では日々の実習において木材を扱い、部材として製材された柱などを用いて加工組み立てを行いながら、建物づくりの技能を習得し、その中で木の特性や樹種について多くのことを学んでいます。総合建築科の学生の皆さんに県内の森林の現状を知ってもらい、森を育てる取組に参加することで森林資源の循環利用について学習するため、令和6年6月5日(水)、6月6日(木)の2日間、(株)津軽バイオマスエナジー様のご協力のもと、同社の社有林で弘前地方森林組合の皆様から植樹の技術指導を受けながら、カラマツの苗木を植える植樹活動を行いました。



百年先を
見据える

青森県庁 林政課 Facebook



あもりの木

青森県産材をPRする動画

県内では多くの人工林がそのまま放置されている現状もありますが、持続可能な森林の管理がSDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」の実現に寄与するものとなるので、この活動に参加することで学生の皆さんにとっては、森林の再生や森林サイクルに関心を持つ機会となりました。また、青森県基本計画「青森新時代」への架け橋で掲げている「カーボンニュートラルに向けた脱炭素社会の実現」を目指す中で、再造林などの森林整備を学生の皆さんが直接体験することは、豊かな自然環境を次世代に継承することや良質な青森県産材の育成にもつながります。

持続可能な開発目標

15 陸の豊かさを守ろう



森林や生物多様性の保護が重要



植樹活動に参加した学生からの感想



総合建築科1年
菊地 椿
五所川原商業高等学校卒業

今回が初めての植樹ということで始めは不安でしたが植え方を分かりやすく教えていただいたので、思った以上に作業がはかどりました。私たちは実習で木材を扱っているので、自分たちの手で植樹をすることができたことはとても貴重な経験であり、植樹は森を守ることに繋がると聞いたので参加できてよかったです。多くの苗木を植えることができたので、1本1本のカラマツの苗木がしっかり育ってくれたら嬉しいです。



☆今回植樹した「カラマツ」ってどんな木？

カラマツは日本固有のマツ科カラマツ属の針葉樹。「日本の針葉樹のうち唯一の落葉樹です。日当たりと岩石が細かく崩れたような通気性の良い土壌を好み、比較的夏に雨量が多く、寒さ厳しい環境でも生育できます。寒冷地系の針葉樹としては、成長が早く木材強度が優れていることが特徴となっています。

6月5日(水)、6月6日(木)の2日間にわたって行った活動では、株式会社津軽バイオマスエナジー様をはじめ、弘前地方森林組合様、青森県農林水産部林政課企画グループ及び中南地域県民局地域農林水産部林業振興課の皆様にはたいへんお世話になりました。ありがとうございます。学生の皆さんは森林サイクルである「植えて、育てて、切って、活用する」一部の作業をを学ぶとともに、限りある木材資源を最大限に有効活用する「ものづくり」のことも学ぶことができました。